

別紙3 取組シート改訂案

見直し前（現行）			
改革の方向性②	持続可能な財政基盤の確立		
重点改革項目 4	事務事業の再構築		
取組 12 RPA・AI-OCRを活用した業務の効率化 <b>新規</b>	担当課：全庁（企画政策課）		
1 現状と課題			
<ul style="list-style-type: none"> <li>■今後、限られた職員数で、多様化・高度化する市民ニーズに的確に対応していくために、効率的な組織体制を構築する必要性が高まっている中、更なる業務の省力化・効率化を図るため、RPA（9ページ、※3）の導入を進める必要があります。</li> <li>■また、愛知県が設置する「あいちAI・ロボティクス連携共同研究会」では、AI-OCR（9ページ、※4）を共同利用するための準備を進めており、RPAとAI-OCRは、組み合わせ使用することで、更に業務を効率化できることから、AI-OCRについても、共同利用のメリットを生かしながら、あわせて導入を進める必要があります。</li> <li>■加えて、これらの効果を最大限に発揮するためには、使用する職員の能力・知識の向上や、適切な維持管理による運用などが必要不可欠であるとともに、RPA等について理解を深めることは、導入範囲の拡大にもつながることから、人材育成やシステム周知についても取り組む必要があります。</li> </ul>			
2 取組内容			
<ul style="list-style-type: none"> <li>■2020（令和2）年度中の運用開始を目途に、一部のデータ入力業務においてRPAの導入を進めることとあわせて、AI-OCRについても、県内市町村との共同利用による導入を進めます。</li> <li>■RPA・AI-OCRを活用することにより、より効率化が見込まれる業務については、導入を積極的に検討し、順次、導入範囲の拡大を図ります。</li> <li>■職員を対象として、RPA・AI-OCRに係る操作研修会や説明会を実施します。</li> </ul>			
3 取組の工程			
年度	2020（令和2）年度	2021（令和3）年度	2022（令和4）年度
取組内容	■RPA・AI-OCRの導入に向けた課題整理・準備等		
	■導入	（適切な運用）	→
	■説明会・操作研修会の実施	■導入範囲拡大の検討	→



見直し後			
改革の方向性②	持続可能な財政基盤の確立		
重点改革項目 4	事務事業の再構築		
取組 12 RPA・AI-OCRを活用した業務の効率化	担当課：全庁（企画政策課）		
1 現状と課題		現状と課題を捉え直す	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■今後、限られた職員数で、多様化・高度化する市民ニーズに的確に対応していくために、効率的な組織体制を構築する必要性が高まっている中、更なる業務の省力化・効率化を図るため、RPA（9ページ、※3）を導入しました。</li> <li>■また、愛知県が設置する「あいちAI・ロボティクス連携共同研究会」によって、AI-OCR（9ページ、※4）の共同利用も開始されています。</li> <li>■税務課における給与支払報告書に係る事業所宛名登録処理や子育て支援課における台帳作成処理等において、RPA・AI-OCRを活用し、業務時間を削減することができています。</li> <li>■しかし、RPA・AI-OCRを活用できる職員が限られており、一部の業務においてのみ活用している現状となっています。</li> </ul>			
2 取組内容		捉え直した現状と課題を踏まえ、取組内容を決定	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■RPA・AI-OCRの導入により効率化が見込まれる単純入力作業等の業務を抽出し、その業務について、導入を積極的に検討し、順次、導入範囲の拡大を図ります。</li> <li>■RPA・AI-OCRの基本操作や導入事例等を周知し、導入範囲の拡大を図るため、職員を対象とした、RPA・AI-OCRに係る操作研修会や説明会を実施します。</li> </ul>			
3 取組の工程		2023（令和5）・2024（令和6）年度の工程を決定	
年度	2022（令和4）年度まで	2023（令和5）年度	2024（令和6）年度
取組内容	■RPA・AI-OCRの導入（2020年）	（適切な運用）	→
	■説明会・操作研修会の実施（2020年～2022年）	（継続実施）	→
	■導入範囲拡大の検討（2021年～2022年）	■単純入力作業等の業務を抽出・効果検証	→